

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立夕日寺小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒920-0822  
石川県金沢市東長江町に17番地

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 158名 女子 135名 合計 293名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1 ユネスコスクールとしての取組

#### 1年生(生活科) なかよし いっぱい



一人一鉢でアサガオを育て、畑ではさつまいも、そして、学年花壇ではマリーゴールドやおしろいばな等いろいろな花を育てた。植物の成長の様子を継続的に観察し、押し花遊びやリース作り、種ブローチ作りを楽しみ、さつまいもは、調理して収穫を喜び合った。水やりや草むしり等、自然との関わりを通して、自然の美しさや不思議さを感じることができた。

年長さんを迎える会では、「学校生活を楽しみに入学してほしい」という思いのもと、1年生としての成長を見せようと準備を進めた。年長児のお世話をする中で、小さい子を思いやる心を持つことができた。

#### 2年生(生活科) 大きく育て



春にはヨモギを収穫したり、畑ではさつまいも、えだまめ、落花生、カボチャ等の野菜を栽培したり、学年花壇では綿や百日草、千日紅、フウセンカズラ等たくさんの花を育てた。そして、収穫したものでヨモギ団子やスイートポテト、めった汁を作り、実りを味わうことを楽しむことができた。また、校区にある夕日寺自然園では、ざりがに釣りをして学校でお世話して育てた。身近にたくさんの生き物が息づいていることを知り、生き物と触れ合う機会を多く持つ事で生き物に親しむことができた。

#### 3年生(総合的な学習の時間)

#### 自然とのつながり～森と生き物・人とのつながり～



いしかわ自然体験支援隊の方をお呼びし、校区内の森で、ひみつ基地やブランコなどの遊び道具を作る活動を行った。森に生えている草や木を素材として使う活動を通して、森を楽しみ、自然への興味を高めることができた。さらに、身近な森について知りたいという意欲が高まり、森の秘密や不思議を自分たちで調べることができた。調べて分かったことや学んだこと伝え合い、発表することもできた。これらの体験を通して、森は人と深く関わり合っていることを実感し、森を大切にしていかなければならないという思いを高めることができた。

4年生(総合的な学習の時間)  
未来の地球を考えよう～もったいない(3R活動)～



社会科の学習で学んだ「ごみを減らす大切さや必要性」から、地球のために自分たちができることは何かをみんなで考えた。3R活動はもちろん、電気や水の節約が地球のためになると考え、各家庭の協力の基、実践することができた。また、実行したことやどうして実行したことが地球のためになるのか、さらに、これから続けていきたいことを一人一人がまとめ、校内に掲示し、発信する事もできた。これらの活動を通して、一人一人の力では、あまり成果がなくても、たくさんの方が協力し合うことで地球が良くなっていくと分かり、今後も続けていく意欲を持つことができた。

5年生(総合的な学習の時間)  
自然とつながろう～野菜を育てよう・ビオトープを受け継



自分たちが住む、金沢市が誇るたくさんの加賀野菜。その特徴や育て方について調べ学習を行い、金時草や五郎島金時、打木赤皮甘栗かぼちゃ等、実際に苗植えから収穫までを行った。この活動を通して、地産地消や日本の食糧生産を考えることができた。また、米作りも行い、田作り、田植え、草取り、稲刈りなど米作りの大変さや農家の方々の苦労や工夫を学ぶことができた。収穫したお米で地域の方と餅つきをすることで、大変さだけではなく、米作りの喜びも共有することができた。

6年生(総合的な学習の時間)  
「里山再生」～ビオトープ活動の発信と交流～と自分の生き方について考える



ビオトープは、毎年6年生が中心となって、地域や保護者の方々の協力を頂きながら整備してきている。今年度もビオトープの生き物について継続観察することで、生き物が住みやすい里山について考え、自分で見つけた課題を解決するために、調べ学習を行ってきた。自然の大切さや恵み、保全の難しさを感じるとともに、地域や保護者の方々の支えや協力を感じていた。また、元プロサッカー選手や保育士等から、自分の目標や夢を達成するには、どのようなことを心がけて学習・生活していくべきなのか、直接お話を聞き、自分の生き方について考えることができた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )